

■計画のポイント

①東Ⅰ期棟のボリューム感の軽減について

- ボリューム感を抑えるためには 10 階建てである東Ⅰ期棟の調整が特に効果的である。
- ・ 東Ⅰ期棟の屋上目隠し壁を内側にセットバックさせる。

②外装構成の考え方について

- 低層階、中層階、上層階と各階層の機能、特徴に合わせた外装とする。

③広場からの見え方について

- 広場からは中層階、上層階をセットバックさせ圧迫感を低減させる。
- ・ 広場、リングテラスに面した低層階は開放的な設えとする。

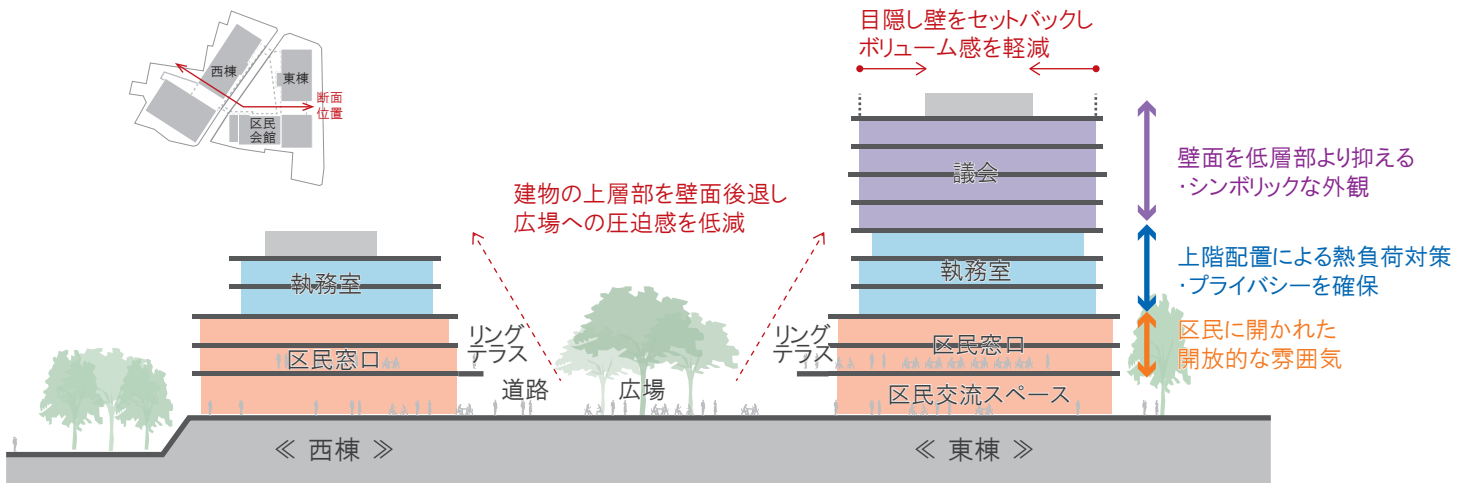
④松陰神社前駅側アプローチからの見え方について

- ケヤキ並木のアプローチに面した区民会館、区民交流スペースは開放的な設えとする。
- ・ 上層階は低層階より壁面を後退させ、かつシンボル性を出す折板状の外壁とする。

⑤広場への日影について

- 上層階は壁面を低層部より抑えて圧迫感を低減させ、広場への日照を確保する。
- ・ 東Ⅰ期棟の日影が 11 時頃までかかるが、それ以降は区民会館の影響によるため現状とほぼ変わらない。

①東Ⅰ期棟のボリューム感を軽減する・②外装構成の考え方



外装構成の考え方

■低層階

→ 区民に開かれた開放的な雰囲気 → 開口部の多い形状

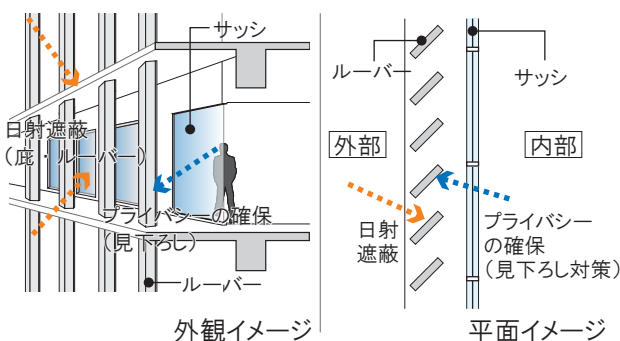
■中層階

→ 上階配置による熱負荷対策 + プライバシーを確保 → ルーバー設置

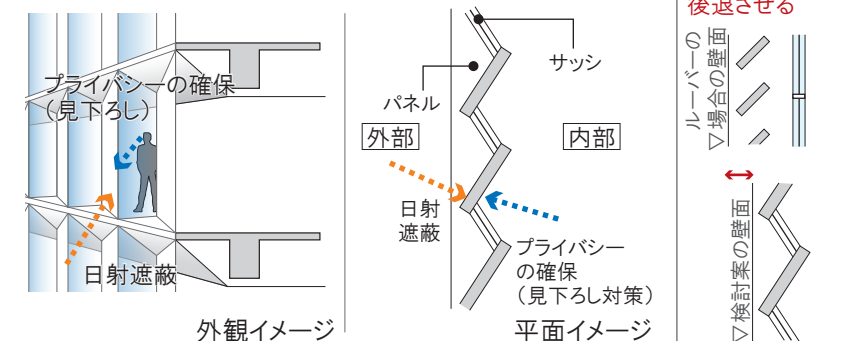
■上層階

→ 壁面位置を低層部より抑える + シンボリックな外観 → 折板状の外装

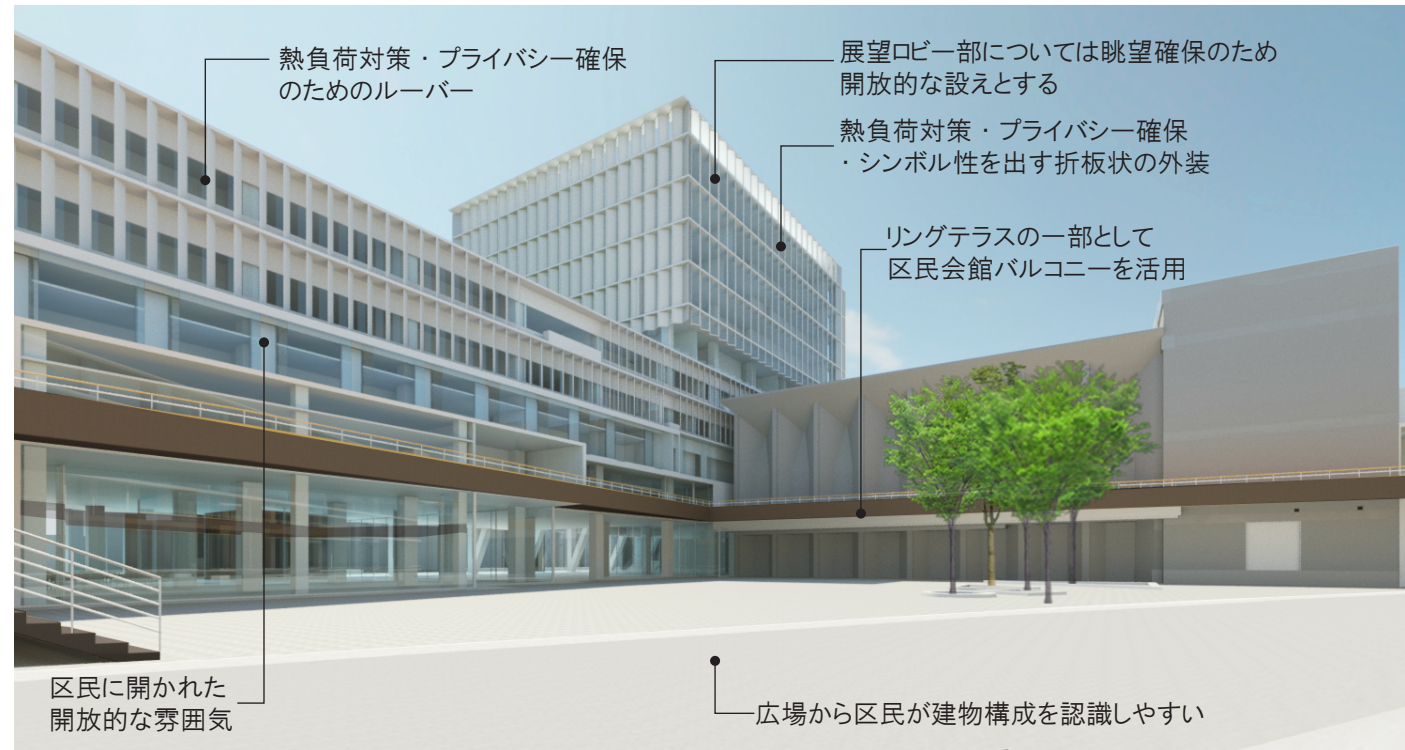
■中層階の外装イメージ



■東Ⅰ期棟 上層階の外装イメージ



③広場からの見え方について

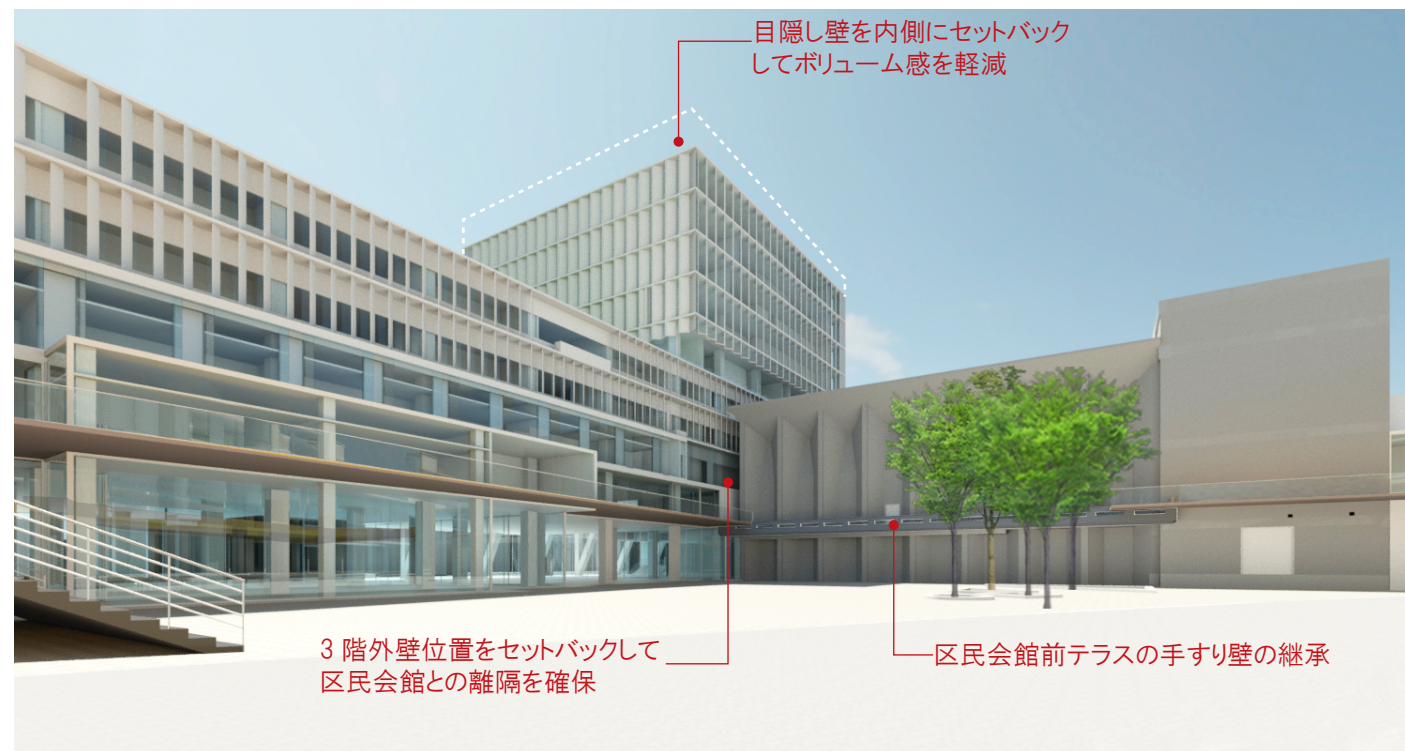


これまでの外観イメージ

④松陰神社前駅側アプローチからの見え方について



これまでの外観イメージ

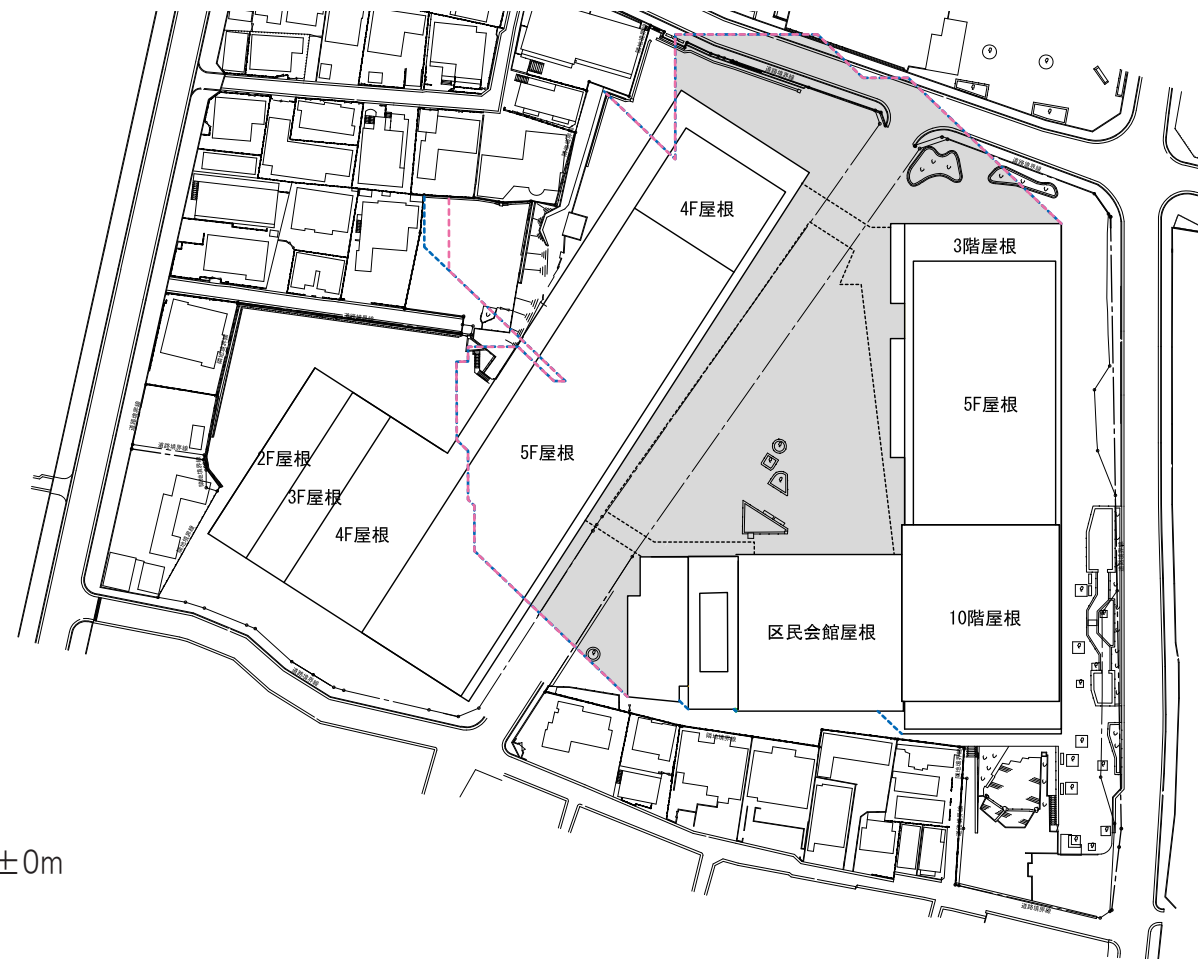
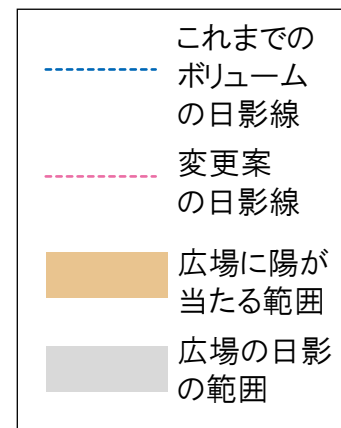


変更案



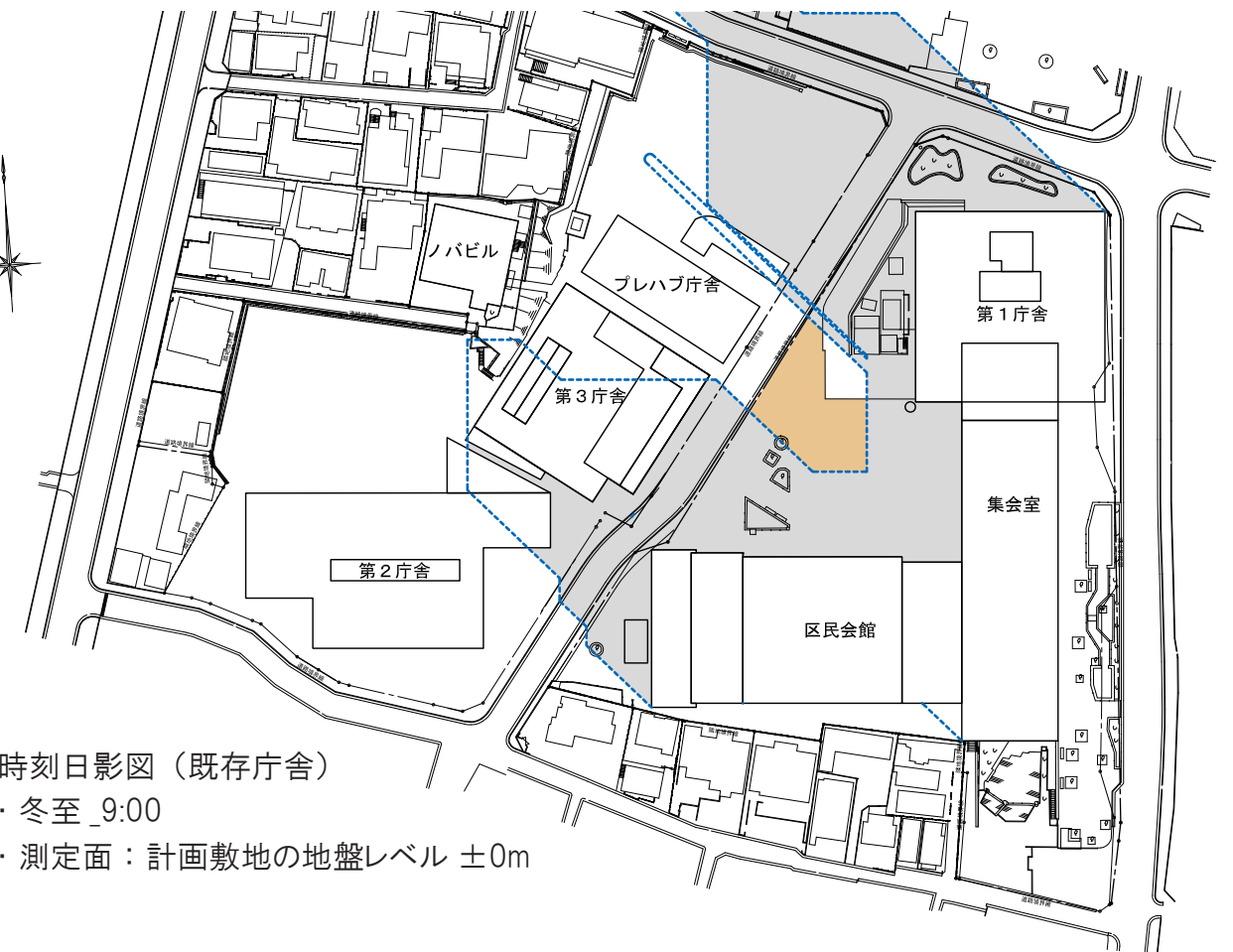
変更案

⑤広場（1階部分）への日影について



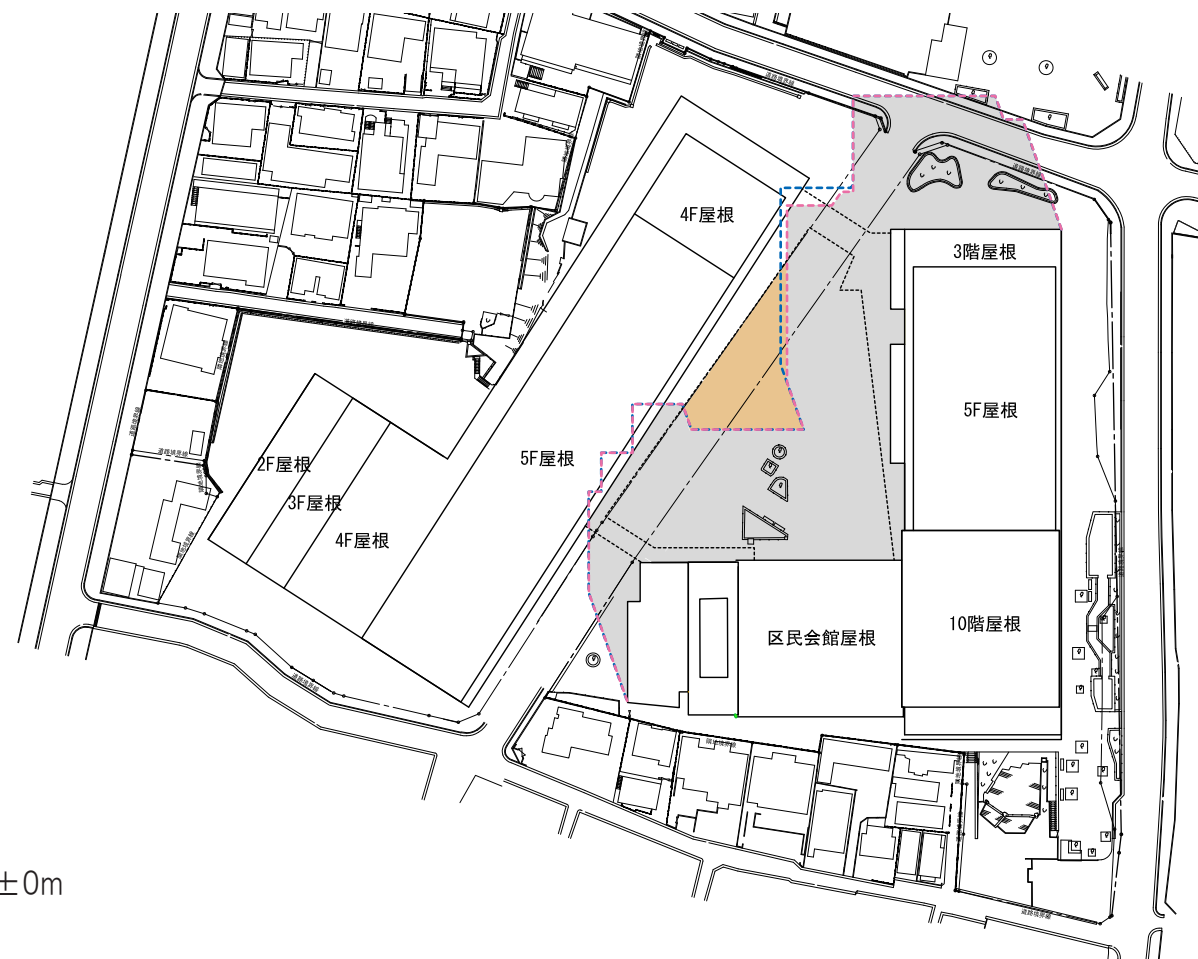
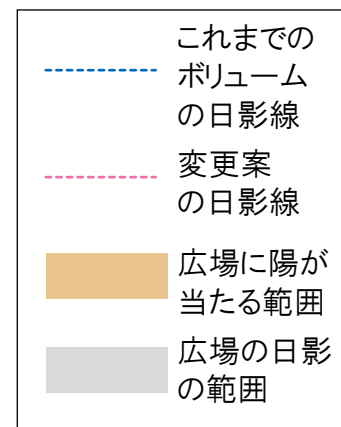
■時刻日影図（計画庁舎）

- ・冬至_9:00
- ・測定面：計画敷地の地盤レベル ±0m



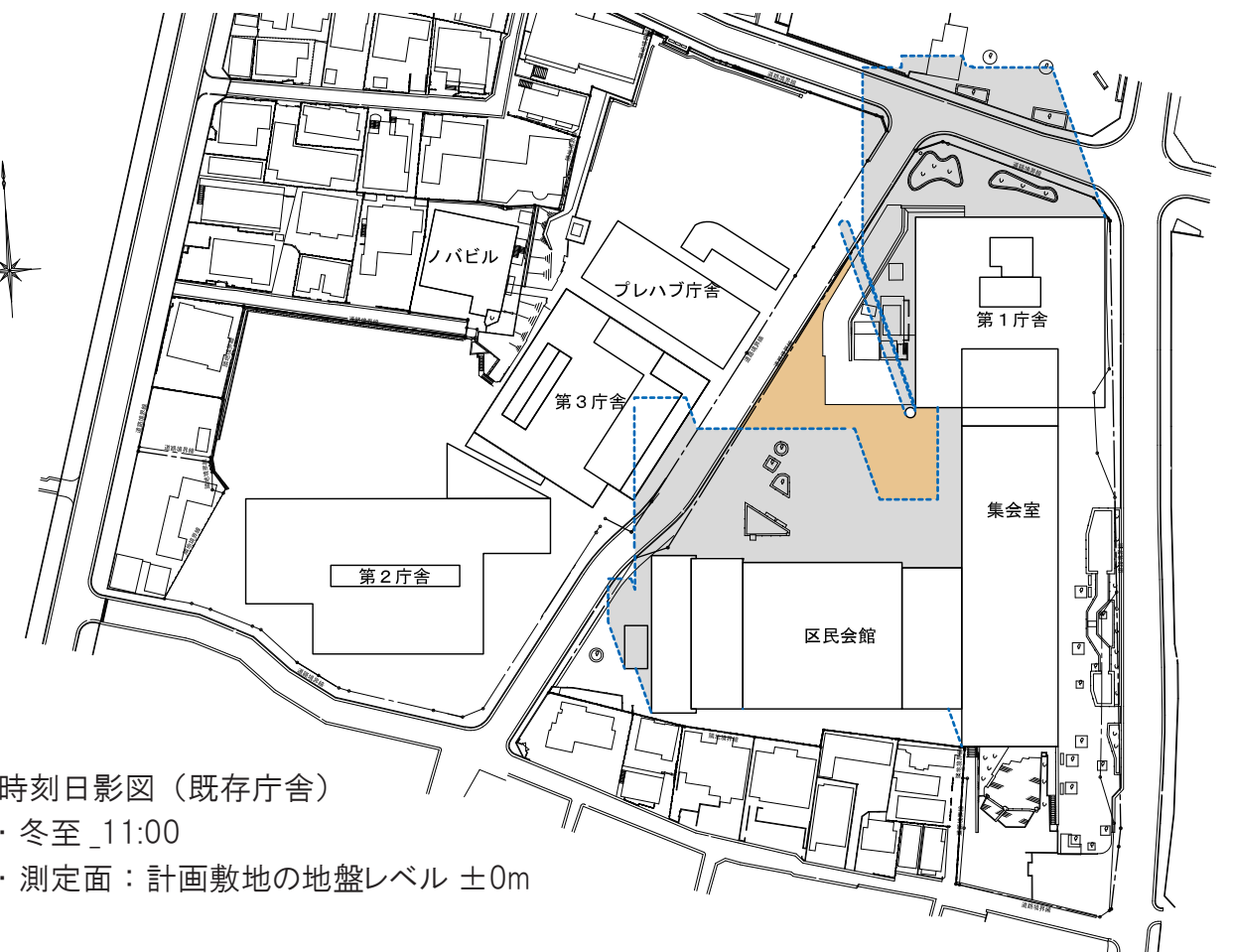
■時刻日影図（既存庁舎）

- ・冬至_9:00
- ・測定面：計画敷地の地盤レベル ±0m



■時刻日影図（計画庁舎）

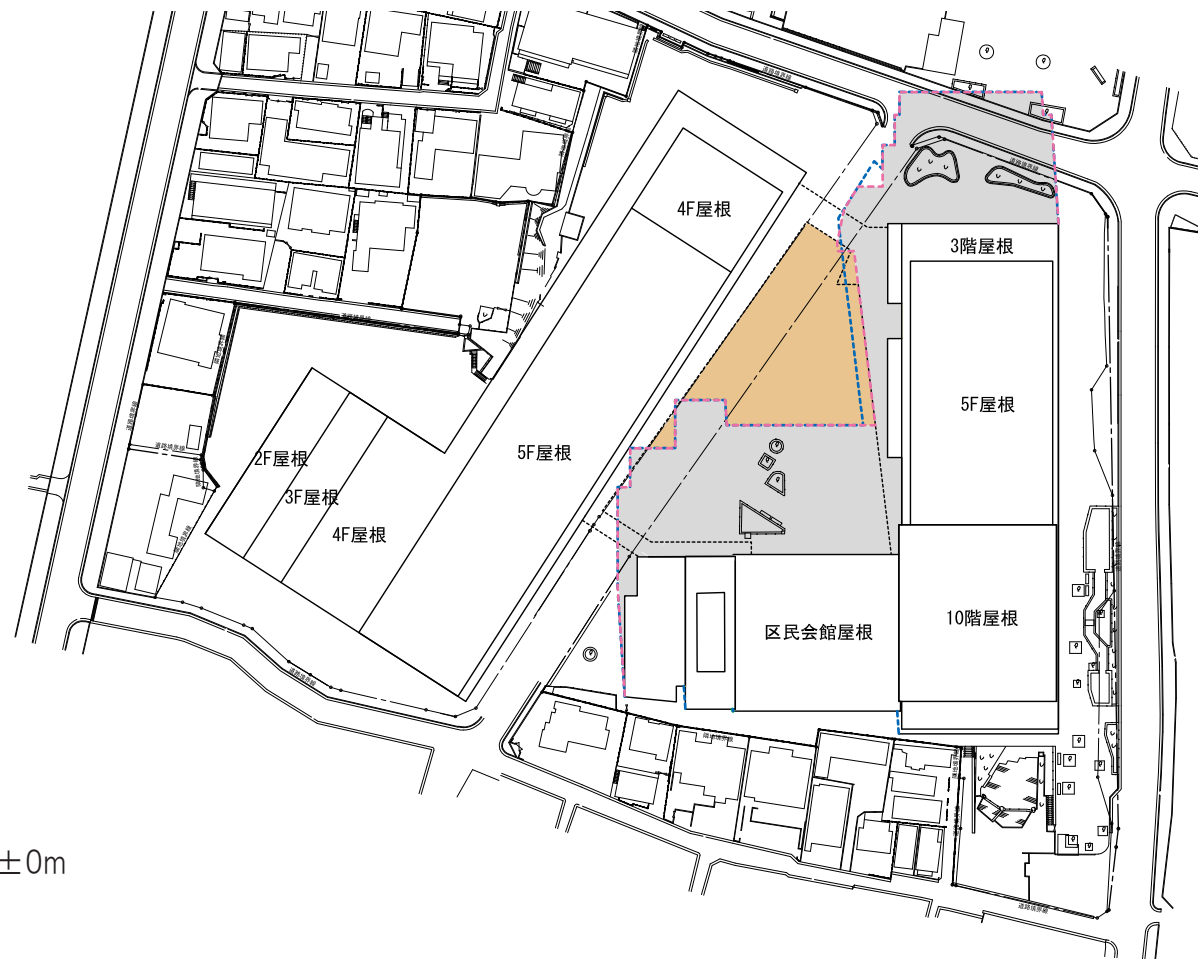
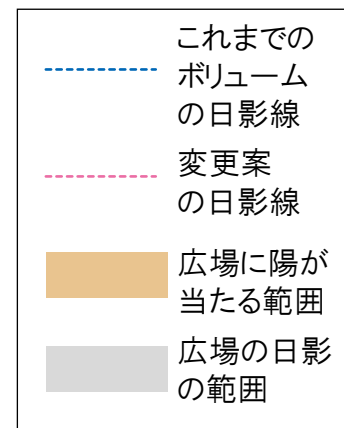
- ・冬至_11:00
- ・測定面：計画敷地の地盤レベル ±0m



■時刻日影図（既存庁舎）

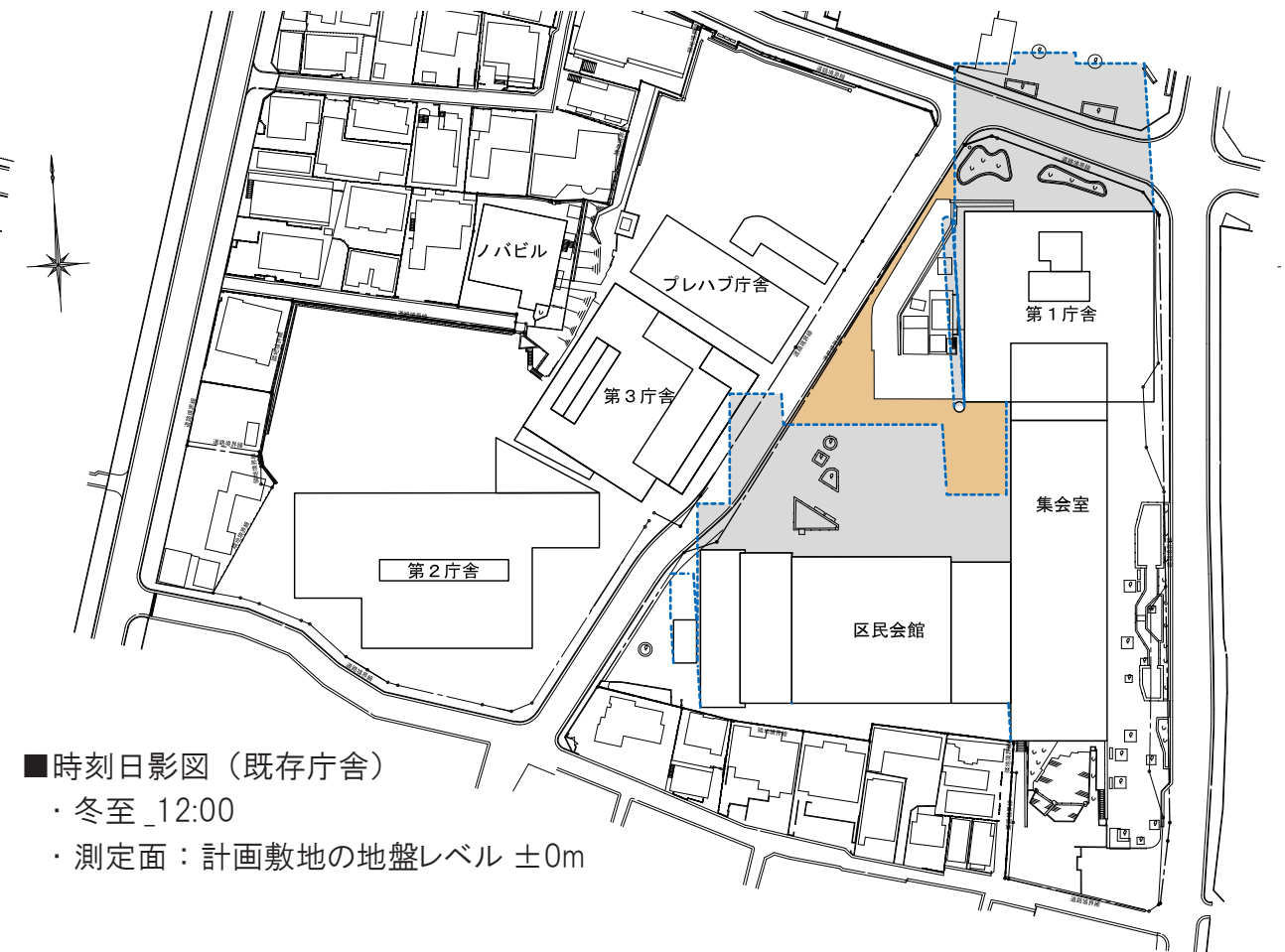
- ・冬至_11:00
- ・測定面：計画敷地の地盤レベル ±0m

⑤広場（1階部分）への日影について



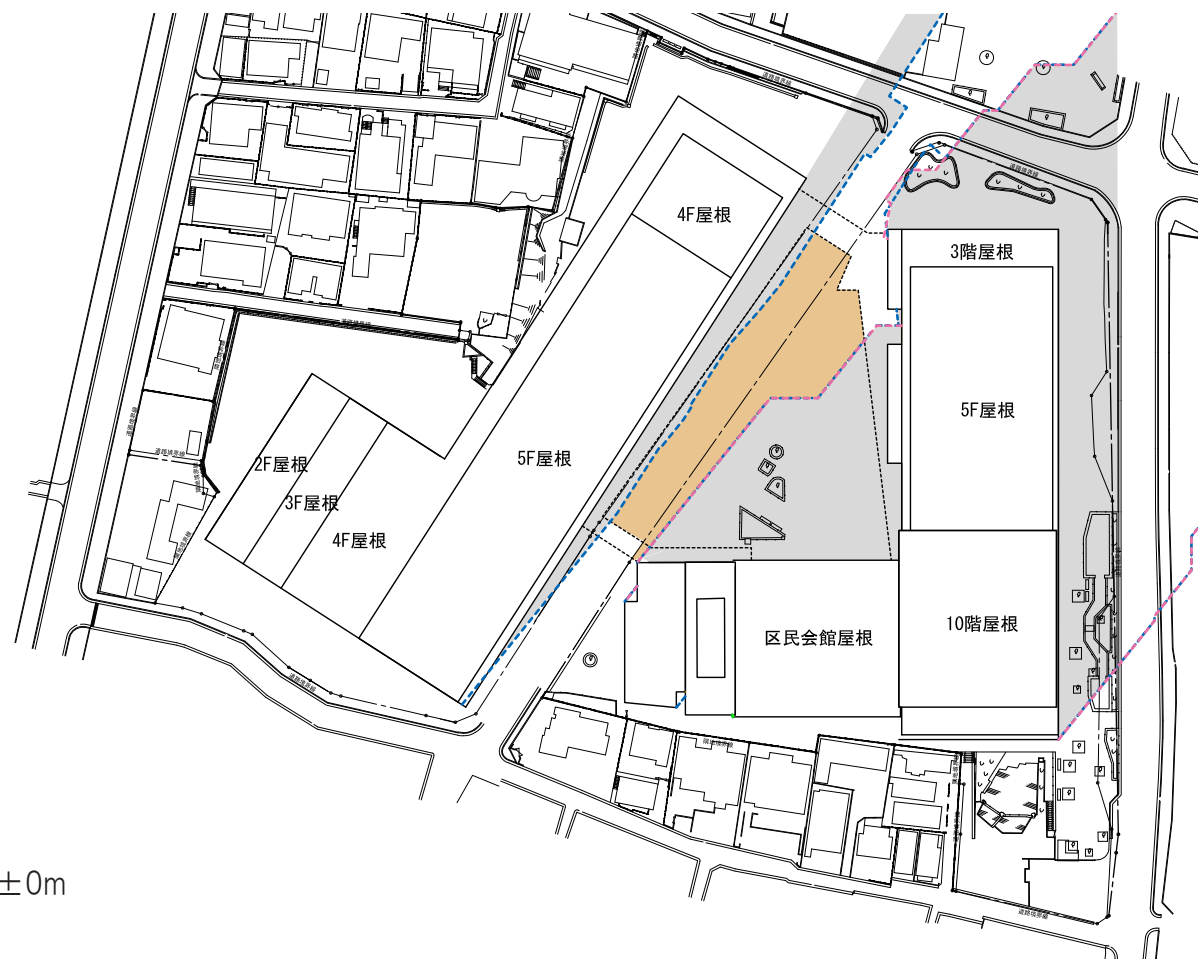
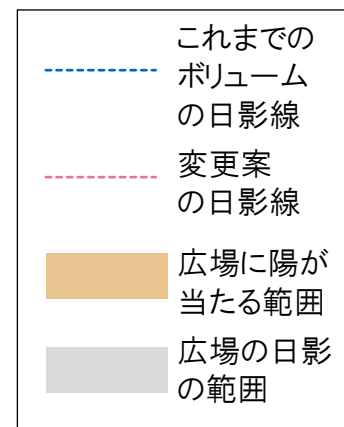
■時刻日影図（計画庁舎）

- ・冬至_12:00
- ・測定面：計画敷地の地盤レベル ±0m



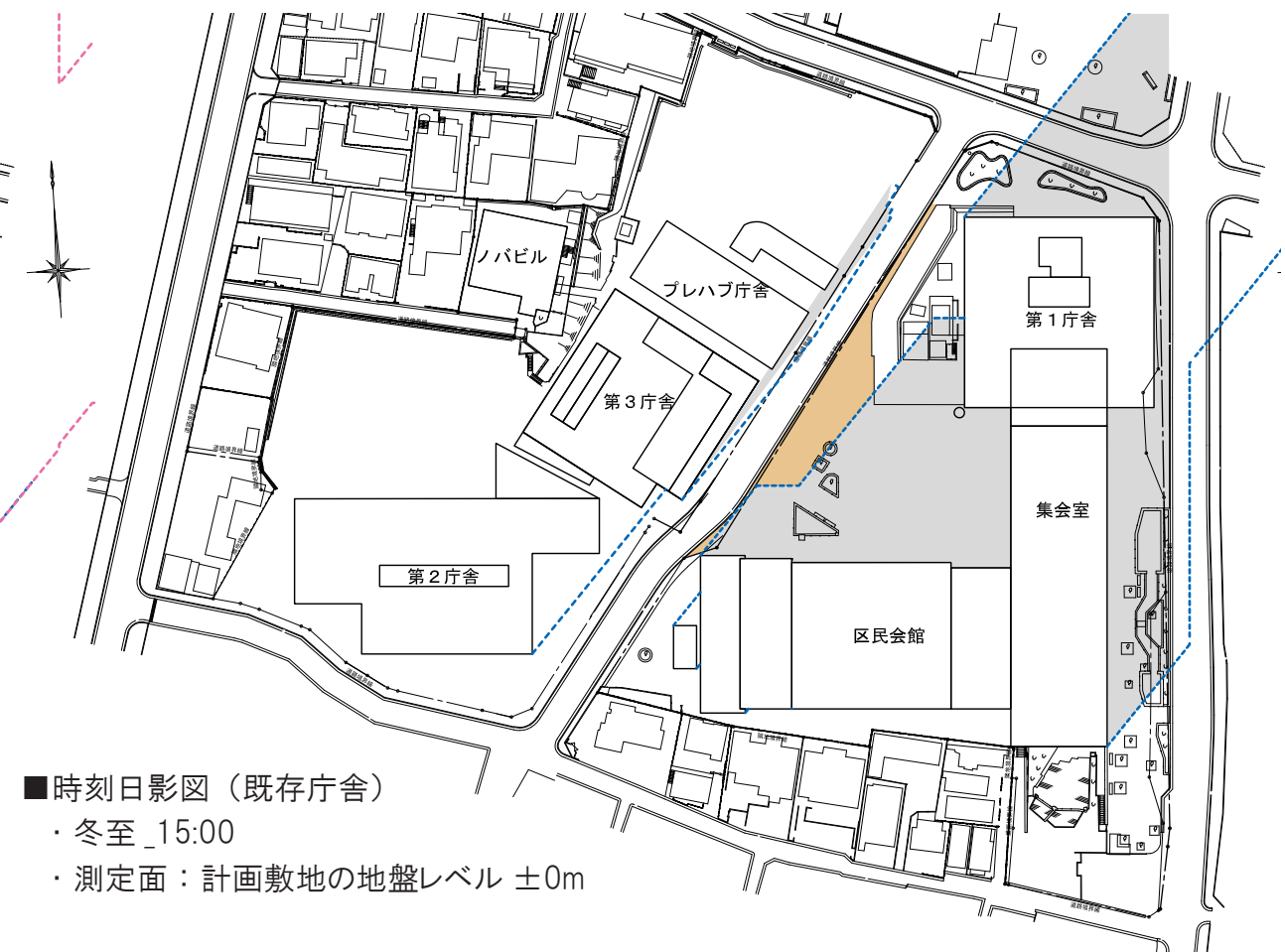
■時刻日影図（既存庁舎）

- ・冬至_12:00
- ・測定面：計画敷地の地盤レベル ±0m



■時刻日影図（計画庁舎）

- ・冬至_15:00
- ・測定面：計画敷地の地盤レベル ±0m



■時刻日影図（既存庁舎）

- ・冬至_15:00
- ・測定面：計画敷地の地盤レベル ±0m